

## 仕様書

1. 件 名 ラット個体作製及び微生物検査業務
2. 数 量 1 式
3. 目 的 生体ナノ量子センサ研究で使用するラットについて、凍結受精卵を元に個体を作製し、当機構の実験動物施設に導入可能な微生物学的清浄レベルであるかを確認する。
4. 履行期限 令和 7 年 9 月 30 日
5. 納品場所 千葉市稲毛区穴川 4－9－1  
国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構  
清浄レベル確認後の個体 低線量影響実験棟 2 階ラット検疫室  
微生物検査結果 低線量影響実験棟 4 階 E407
6. 業務内容 以下を実施する。
  - ① 当機構より提供するラット凍結受精卵を用いて、偽妊娠雌に移植して産仔を得、離乳後、里親の微生物検査（Sendai virus (HVJ), Sialodacryoadenitis virus (SDAV), Hantavirus, *Mycoplasma pulmonis*, *Clostridium piliforme* (Tyzzer's organism), *Pseudomonas aeruginosa*, *Corynebacterium kutscheri*, *Salmonella* spp., *Pasteurella pneumotropica* (*Rodentibacter pneumotropicus* 及び *Rodentibacter heylii*), *Bordetella bronchiseptica*, *Streptococcus pneumoniae*, *Filobacterium rodentium* (Cilia-associated respiratory bacillus), Ectoparasites, Intestinal protozoa, Pinworms) を行い、検査結果及び残ったすべての産仔（雌雄不問、計 3 匹以上、7 週齢程度）を動物専用輸送車にて指定場所に納品する。なお、微生物検査結果で、1 項目でも陽性の場合、産仔の納品は不可とし、再度受精卵の移植から行うこと。
7. 必要な能力・資格
  - ① ラット凍結受精卵から個体を作製する能力を有すること。
  - ② 動物実験および遺伝子組換え実験に関わる法令に基づく業務の実施体制が確立していること。
8. 検 査 作業完了後、当機構職員が、所定の要件を満たしていることを確認したことをもって検査合格とする。

9. その他 提供した凍結受精卵の返却は不要とする。

(要求者)

部課（室）名：量子生命センシンググループ

氏 名：今岡達彦